

公共工事等事故情報

| | | | | | | | |
|-------|--|--|-------------------------|-------|---|---------|------|
| 事故分類 | 物損公衆災害 | 発生日時 | 令和 5年 7月 6日(木曜日) 16時00分 | | | 工事関係者区分 | 一次下請 |
| 事故区分 | その他の物損 | 性別 | — | 年齢 | — | 業種区分 | 土木 |
| 被災程度 | 公衆電話ボックスのガラス(1面)にひび | | | 事故レベル | I | 休業見込日数 | - |
| 工事概要 | 除草作業 | | | | | | |
| 事故概要 | 作業員が除草作業を行っていた際に、飛び石により公衆電話ボックスのガラスを損傷させた。受注者は、作業員2名により作業を行っていて、1名がチップソー(肩掛け式)による除草担当、もう1名が飛散防止ネットを保持する担当であった。事故当日、作業個所が道路沿いであったため飛散防止ネットを持った作業員が道路側(北側)にいて、その南横で除草作業員が除草作業を行っていた。その後、除草作業員が道路と反対側(南側)の公衆電話ボックス方向の除草を開始したが、そのとき飛散防止ネットは道路側(北側)にあったため、はねた小石が公衆電話ボックス北側のガラス面に当たり破損したものである。 | | | | | | |
| 事故原因 | 公衆電話ボックスに対する飛散防止対策が十分でなかったため。 | | | | | | |
| 改善策 | 作業前に関係者全員で現場における危険箇所等の確認を行い、対策をとったうえで作業を開始する。その際、周辺のガラス面などを防護するため、飛散防止ネットの配置や養生等を行う。除草作業員は必ず飛散防止ネット配置状況など安全対策を確認したうえで作業を開始する。 | | | | | | |
| 事故状況図 | |  | | | | | |
| 改善状況図 | |  | | | | | |